

低血糖の症状と対応方法

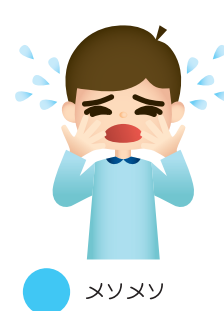
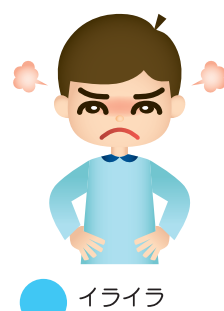
アクションプログラム

- 自分で対応できます。
- 自分で上手に補食できますが、先生の見守りが必要です。補食後、保健室で休養させ経過観察する。
- 保護者・主治医に緊急連絡し、救急車にて主治医または近くの病院に転送する。救急車を待つ間、砂糖などを口内の頬粘膜にこすりつけてください。



低血糖の症状

- 軽度（血糖値 50～60mg/dl）
グルコース錠 2 個を食べる。
（約 40kcal 相当）



- 中等度（血糖値 40～50mg/dl）
グルコース錠 2 個とビスケットやクッキーを 2・3 枚（40～80kcal）。
飲料水（糖分を含むもの）は意識がはっきりしている場合にだけ飲ませる。



- 高度（血糖値 40mg/dl 以下）
砂糖やグルコース錠を口腔内へ入れ、
口から出ないように頬を押さえて
てください。誤嚥の危険が
あるので水分は与えないで
ください。

